

CHRISTIAN GERHAHER & GEROLD HUBER MAHLER LIEDER

クリスティアン・ゲルハーヘル
～マーラーの二夜～

第1夜

2011. 12月 5日 [月]

19:00開演 [18:00 開場]

第2夜

2011. 12月 7日 [水]

19:00開演 [18:00 開場]

TICKET

各 ¥7,000 [全席指定]

セット券 ¥13,000 [全席指定]
(王子ホールチケットセンターのみの取扱い)

PERFORMER

クリスティアン・ゲルハーヘル (バリトン)
Christian Gerhaher (Baritone)

ゲロルト・フーバー (ピアノ)
Gerold Huber (Piano)

GUSTAV MAHLER LIEDER

【第1夜】

グスタフ・マーラー:

Gustav Mahler:

「さすらう若人の歌」より

Lieder eines fahrenden Gesellen

恋人の婚礼のとき／けさ野辺を歩けば／私の胸の中には燃える剣が／恋人の青い眼

Wenn mein Schatz Hochzeit macht/Ging heut' morgen übers Feld/Ich hab' ein glühend Messer/Die zwei blauen Augen

「子どもの魔法の角笛」より

From "Des Knaben Wunderhorn"

だれがこの歌を作ったのだろう／夏に小鳥はかわり／私は緑の森を楽しく歩いた／

Wer hat dies Liedlein erdacht/Ablösung im Sommer/Ich ging mit Lust durch einen grünen Wald

いたずらな子をしっかりとつけるために／ラインの伝説／番兵の夜の歌／

Um schlimme Kinder artig zu machen/Rheinlegendchen/Der Schildwache Nachtlid

塔の中の四人の歌／この世の生活／シュトラスブルクの砦に／美しいトランペットが鳴り響く所

Lied des Verfolgten im Turm/Das irdische Leben/Zu Straßburg auf der Schanz/Wo die schönen Trompeten blasen

「亡き子をしのぶ歌」より

Kindertotenlieder (Friedrich Rückert)

いま太陽は輝き昇る／なぜそんなに暗い眼差しなのか、今にしてよくわかる／

Nun will die Sonn' so hell aufgeh'n/Nun seh' ich wohl, warum so dunkle Flammen

おまえのお母さんが／ふと私は思う、あの子たちはちょっと出かけたいただけなのだと／こんな直に

Wenn dein Mütterlein/Oft denk' ich, sie sind nur ausgegangen/In diesem Wetter

【第2夜】

グスタフ・マーラー:

Gustav Mahler:

「大地の歌」より 第2楽章 秋に寂しき者

From "Das Lied von der Erde" No.2 Die Einsame im Herbst

「最後の7つの歌」

Sieben Lieder aus letzter Zeit

死んだ鼓手／少年鼓手／私の歌をのぞき見しないで／

Revelge/Der Tamboursgesell/Blicke mir nicht in die Lieder

私は快い香りを吸いこんだ／真夜中に／

Ich atmet' einen linden Duft/Um Mitternacht

美しさをあなたが愛するなら／私はこの世に捨てられて

Liebst du um Schönheit/Ich bin der Welt abhanden gekommen

「大地の歌」より 第6楽章 告別

From "Das Lied von der Erde" No.6 Der Abschied

美しい声と言葉で描くマーラーの世界。

2008年1月の終りに、ゲルハーヘルは
シュベールの三大歌曲集全曲演奏会のために王子ホールにやってきました。
盟友ゲロルト・フーバーと描くシュベールの世界は、柔らかさと強さを併せ持ち、
繊細で美しい詩情に満ちて、正統的なリートの継承者としての存在を奥ゆかしく明らかにしたのです。
遠くない月日での再会を約し、シューマン・イヤーが過ぎ首を長くして待つ日々。
マーラー・イヤーの今年、3年ぶりに待望の再登場です。
師走の喧騒を忘れて二夜、深奥なるマーラーの歌曲の世界へ。
第1夜は「さすらう若人の歌」「子どもの魔法の角笛」「亡き子をしのぶ歌」より。
第2夜は「大地の歌」ピアノ版抜粋、「5つのリュッケルトの歌」を含む「最後の7つの歌」全曲をお贈りします。

クリスティアン・ゲルハーヘル (バリトン)

ミュンヘン国立音楽大学オペラ・スクールにおいて、パウル・クレーンとライムンド・グリュンバッハに師事。ピアノのゲロルト・フーバーと共に、ヘルムート・ドイチュのリート・クラスおよびディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウ、エリザベート・シュワルツコップ、インゲ・ボルクのマスタークラスを受講した。その間、自身もミュンヘン音楽大学で教鞭をとる。1998年に医学博士号を修得。同年、パリ、ニューヨークのインターナショナル・プロ・ムジチスで第1位に選ばれた。続いてニューヨークのカーネギー・ホール(チェンバー・ホール)でデビューを飾り、以降、ウィグモア・ホール、フランクフルト・アルテ・オーパー、アムステルダム・コンセルトヘボウ、パリ・オルセー美術館、ベルリン・フィルハーモニー、ウィーン・コンツェルトハウス、ムジックフェラインなどの主要ホールに出演し、ラトル、アーノンクール、ハイティンク、ブーゼス、ティレマン、プロムシュテット、シャイー、ヤンソンス、ハーディング、ナガノなどの指揮者とともに世界の主要オーケストラと共演。オペラでは2006年ザルツブルク音楽祭で、リッカルド・ムーティ指揮の下「パガニーニ」を歌い、これはデッカよりDVDがリリースされた。ヘンツェの「ホンブルクの王子」をアン・デア・ウィーン劇場で、「タンホイザー」のヴォルフガングをマドリッド歌劇場、ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ロンドンのコヴェントガーデン王立歌劇場で歌った。10～11年は、バイエルン国立歌劇場で、モーツァルト「フィガロの結婚」の伯爵を歌いシーズンをスタートさせた。この先には、フランクフルト歌劇場で「こもり」のアイゼンシュタイン、「ペレアスとメリザンド」のペレアス、トゥールーズ市立歌劇場で「ドン・カルロ」のボージガ公爵が予定されている。シュベールの作品を収めたCD「夕暮の情景」は06年にグラモフォン賞を、また同年のシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭では北ドイツ放送音楽賞を受賞。09年にはシューマンの作品を収めたCD「メランコリー」で、エコー・クラシック賞年間最優秀歌手とBBC音楽賞、更に、ラインガウ音楽賞も受賞。続く10年には、マーラーのアルバムがMIDEMクラシック賞年間最優秀歌手、オランダのエディソン・クラシック賞、ドイツ・レコード批評家賞年間最優秀賞を受賞した。

ゲロルト・フーバー (ピアノ)



ドイツ、バイエルン州に生まれる。ミュンヘン国立音楽大学に進み、ピアノをフリーデマン・ベルガー、リート伴奏法をヘルムート・ドイチュに師事。その後、ベルリンのディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウのリート・クラスで学んだ。1998年にクリスティアン・ゲルハーヘルと共にパリ・ニューヨーク・インターナショナル・プロ・ムジチス賞を受賞し、パリとニューヨークのカーネギーホールでコンサートを行った。リート伴奏者として高い評価を得ており、ラインガウ音楽祭をはじめ名のある音楽祭に参加している。最近では自身の音楽祭「芸術音楽」を創設、2006年にミュンヘンのニンフェンブルク城で初めて開催されたこの音楽祭は大きな注目を集めた。ゲルハーヘルの他にも多くのアーティストの伴奏を務め、またアルテミス・カルテットやラインホルト・フリードリッヒの室内楽のパートナーとしても演奏会を行っている。ベートーヴェンの作品を収録したソロCDの他に、クリスティアン・ゲルハーヘルと共に録音した数々の素晴らしいCDがある。彼らのCD「冬の旅」と「美しき水車小屋の娘」はそれぞれエコー・クラシック賞をリート部門で受賞し、シューマンの作品を収めたCD「夕暮の情景」は06年にグラモフォン賞を受賞した。翌年からも次々と歌曲集のCDをリリース。ゲルハーヘルとのシューマン「メランコリー」はBBC音楽賞を、09年にリリースしたマーラーの歌曲集はドイツ・レコード批評家賞をはじめ複数の賞を受賞。最近、ヴォルフのイタリア歌曲集をソニーに、モーツァルトとクリスティアン・ゲルハーヘルで録音をした。

[第1夜]

グスタフ・マーラー：
Gustav Mahler:

「さすらう若人の歌」より
Lieder eines fahrenden Gesellen

恋人の婚礼のとき／けさ野辺を歩けば／私の胸の中には燃える剣が／恋人の青い眼
Wenn mein Schatz Hochzeit macht/Ging heut' morgen übers Feld/Ich hab' ein glühend Messer/Die zwei blauen Augen

「子どもの魔法の角笛」より
From "Des Knaben Wunderhorn"

だれがこの歌を作ったのだろう／夏に小鳥はかわり／私は緑の森を楽しく歩いた／
Wer hat dies Liedlein erdacht/Ablösung im Sommer/Ich ging mit Lust durch einen grünen Wald

いたずらな子をしっかりとつけるために／ラインの伝説／番兵の夜の歌／
Um schlimme Kinder artig zu machen/Rheinlegendchen/Der Schildwache Nachtlied

塔の中の囚人の歌／この世の生活／シュトラスブルクの塔に／美しいトランペットが鳴り響く所
Lied des Verfolgten im Turm/Das irdische Leben/Zu Straßburg auf der Schanz/Wo die schönen Trompeten blasen

「亡き子をしのぶ歌」より
Kindertotenlieder (Friedrich Rückert)

いま太陽は輝き昇る／なぜそんなに暗い眼差しなのか、今にしてよくわかる／
Nun will die Sonn' so hell aufgeh'n/Nun seh' ich wohl, warum so dunkle Flammen

おまえのお母さんが／ふと私は思う、あの子たちはちょっと出かけたいただけなのだと／こんな嵐に
Wenn dein Mütterlein/Oft denk' ich, sie sind nur ausgegangen/In diesem Wetter

GUSTAV MAHLER LIEDER

[第2夜]

グスタフ・マーラー：
Gustav Mahler:

「大地の歌」より 第2楽章 秋に寂しき者
From "Das Lied von der Erde" No.2 Die Einsame im Herbst

「最後の7つの歌」
Sieben Lieder aus letzter Zeit

死んだ鼓手／少年鼓手／私の歌をのぞき見しないで／
Revelge/Der Tamboursgesell/Blicke mir nicht in die Lieder

私は快い香りを吸いこんだ／真夜中に／
Ich atmet' einen linden Duft/Um Mitternacht

美しさをあなたが愛するのなら／私はこの世に捨てられて
Liebst du um Schönheit/Ich bin der Welt abhanden gekommen

「大地の歌」より 第6楽章 告別
From "Das Lied von der Erde" No.6 Der Abschied

ゲルハーヘル表紙写真：©Alexander Basta / フーバー写真：©Günar Streu

■チケットのお問い合わせ・お申し込みは

王子ホール
チケットセンター 03-3567-9990
インターネット：<http://www.ojihall.jp>

◆発売日は電話のみ、翌日は電話とインターネットのみで受け付けします。

◇発売日は1申し込みにつき1公演4枚までの枚数制限がございます。

◇即日完売の場合もございますので、ご了承ください。

◇通常営業日：月曜～金曜 10:00～18:00 (発売日以外の土曜・日曜・祝日は休業)。

CNプレイガイド：0570-08-9990 <http://www.cnplayguide.com/>
ローソンチケット：0570-000-407 <http://l-tike.com/> (Lコード：39392)
イーラス：<http://eplus.jp/oji/> (パソコン&ケータイ)

●お席は全席指定です。●開演中のご入場はご遠慮いただく場合がございます。●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮ください。●公演内容については一部変更になる場合がございますので、ご了承ください。

〈発売日〉2011年6月25日(土)
午前10時から発売します。



銀座 王子ホール
東京都中央区銀座 4-7-5

ACCESS

- 地下鉄銀座駅 A12出口より 徒歩1分
- 都営地下鉄東銀座駅 A2出口より 徒歩2分
- 地下鉄有楽町線銀座一丁目駅 9出口より 徒歩5分
- JR有楽町線 銀座口より 徒歩7分



このパンフレットは王子製紙OKトップコートマットN菊判76.5kgを使用しています。